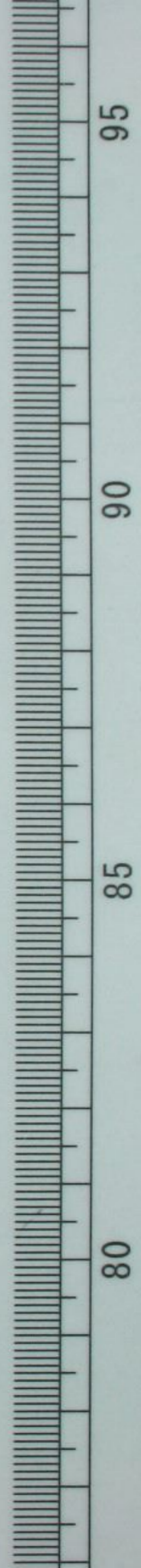


~~D~~  
~~1012~~  
~~2~~

逍遙文庫  
文庫 6  
953  
2



馬琴作

新編金瓶梅

第二集

天保壬辰春  
國安画

泉市板



文庫6

953

2

和漢小説種史の作者善惡邪正賢不肖動靜云為山水景  
 致のみならず先その苦樂を喫め然く後其作はあはれ智慧あるもの  
 あらう世を觀し情を通じ知を以て所を知らしむる文をばれ亦  
 情態を寫す難く嗚呼談何を容易あるんがは故に張竹坡が金  
 瓶梅の讀法を金瓶梅の人も是誤するのれを人々みづろ  
 られを誤る夫人は賊と説くもの原戒を示し然るを聴く者ある因て  
 遂に賊と做せたりといふ説くもの過るを聴くものみづろ賊と做すもの  
 云云とぬいへける這批語寔小説得々好し譬は提婆達多の惡由  
 原是世尊の説く所世尊提婆の惡と做て言ふ初々その情亦通  
 考くその美と説くもの歌人の居るが名所を知る歌人必その地を踏で  
 初て名所を知るあはれ一事と推て萬理の涉らぬ寓言も亦勸懲の

壹

捷徑のたまはるるもの中も物の本は作者々々と澤山さうふ  
 人のいふも詭やある這首で源語那首で水滸和漢今昔技藝  
 なる大の齒にあらざる早也人不知れぬ元籍は又只花見風も早  
 背と祇店あはれをさうりわくを吾も亦數冊漏れぬ自沙心荒唐果敢る  
 死技の年長ても大象の遊ぶる鬼園の冊子合巻物の悲し何書う  
 ちも席はるし情態景致いととて寫すを足らぬ見戲の本心弥敢ふ  
 惴とも九尺店での使れぬ一間の鎗梅金瓶梅高記書名を假初  
 著者せしより既ふた今茲に二編と接木の室咲閉篋る間もあはれ  
 だらく急案一々稟根もる死言とあり白く枝葉を麗て香白く花の  
 大江戸の名物といひてもある死策子序ひる草稿もせぬ筆に信於  
 天保三年壬辰春正月吉日用鐫 曲亭馬琴識





色々丸

世よ

木乃

武太郎之妻

落葉

楠一味齋  
正忠

西門屋立女力野

西門屋立女力野  
乃戸内室もの  
似る花うしろ  
天かぬる夜を  
まのたのめと

信

跡



西門屋  
卓二

西門屋啓十郎



團圓

水の百千やどしと

月をかきせしむ

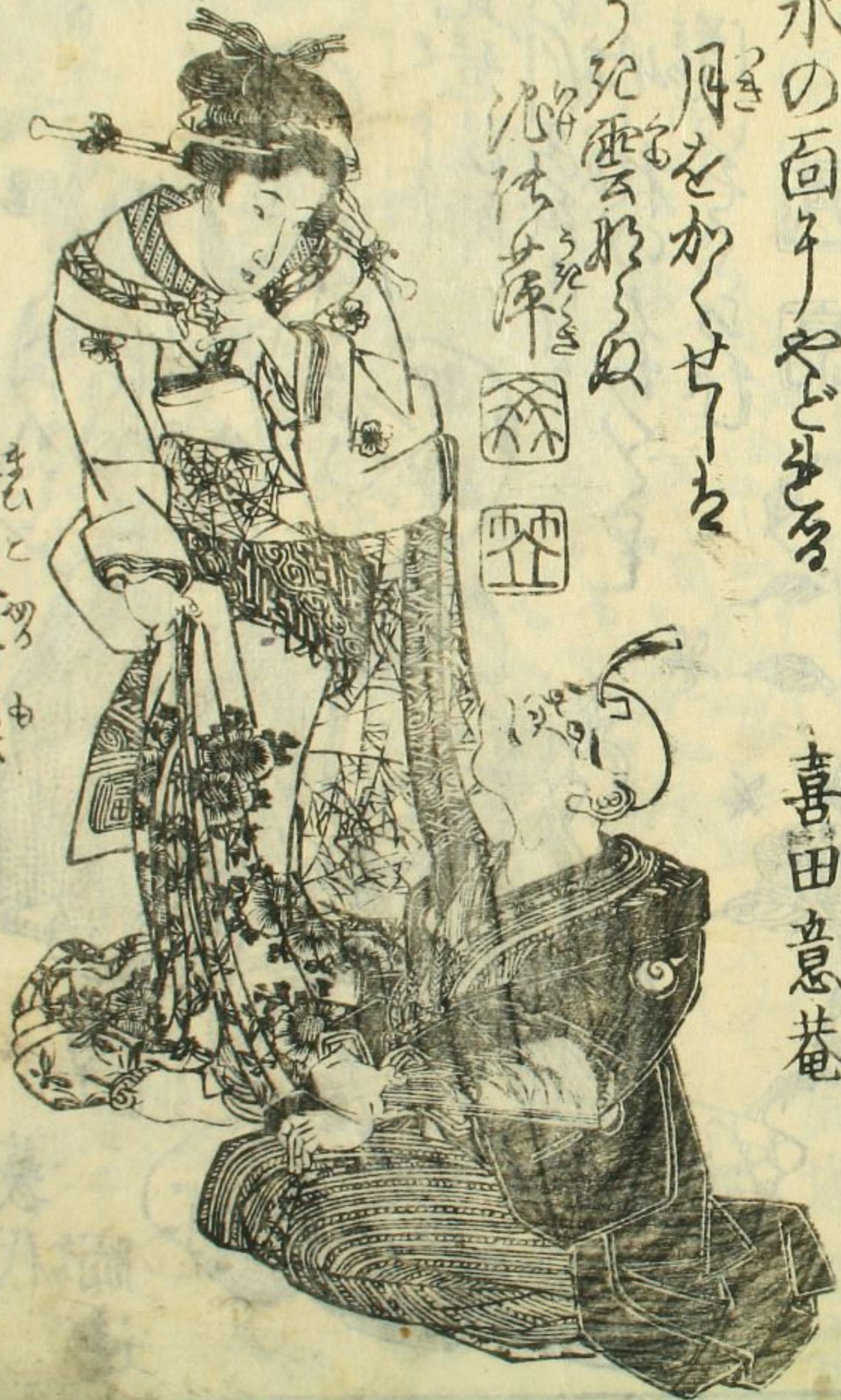
うら雲をねらぬ

沈法女庫

三

三

喜田意菴



舞妓外藻

四橋  
綿

琵琶法師

前  
道  
杖の  
道

因高



藪代  
岡邊

あが  
五  
孀  
空  
八

と  
と  
あ  
れ

敵  
よ

金  
よ

不  
と  
金

加  
え  
た  
ら

加  
え  
た  
ら

銭  
一



藻  
塚  
齋

身  
と  
ね

頼  
三  
齋



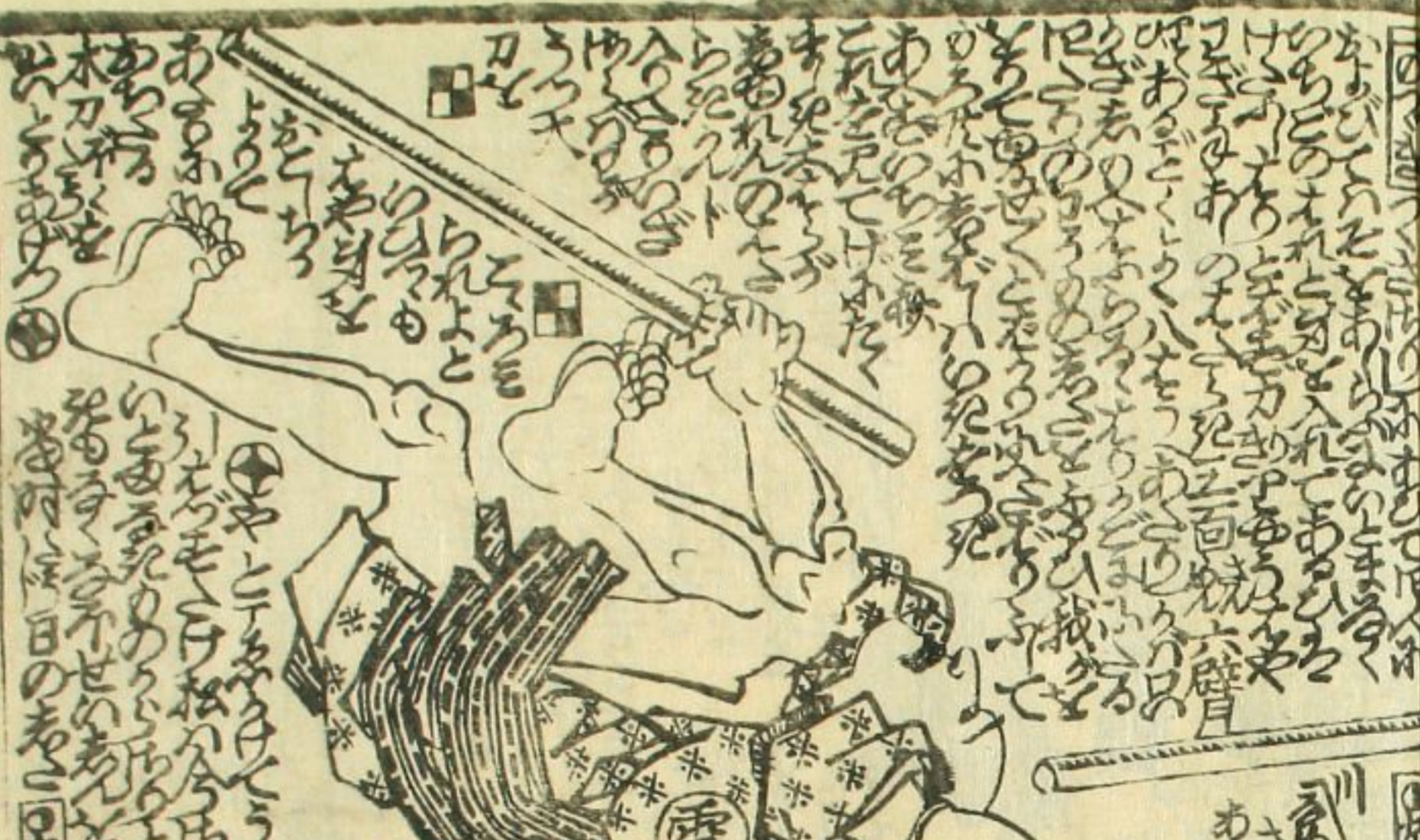
山  
 松  
 安  
 大

此部...  
 松...  
 安...  
 大...

此部...  
 松...  
 安...  
 大...



此部...  
 松...  
 安...  
 大...



此部...  
 山...  
 松...  
 大...





御膳 御膳 御膳

さきつね小西... 御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳...



御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳...

御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳...



御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳...

御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳... 御膳の御膳...

御膳 御膳 御膳

金瓶梅詞話第二十一回

本朝の目録... (Main column of text on the right page)



あつたあの子... (Text block below the illustration on the right page)

あつたあの子... (Main column of text on the left page)



世とさび... (Text block on the left margin)

あつたあの子... (Text block on the left margin)

のふふ年々思はれんといひ  
あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし

あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし

あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし



あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし

あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし

あつて今に五十を過ぎし  
あつて今に五十を過ぎし



金毘羅船第八編

全八冊

曲亭馬琴作  
溪齋英泉画

新編金瓶梅初編

全八冊

歌曲亭馬琴作  
川國安画

小町紅牡丹猥取

全六冊

歌鶴屋南北作  
川國貞画

歌妓小春妖狐天網島

前編全六冊

立川為馬作  
川國貞画

紙屋治兵衛

全六冊

歌柳亭種彦作  
川國貞画

新語咿西行櫻

全六冊

繪本武智袋  
英泉画

大和仮名懸想文賣

五東里作  
冊泉晁画

繪本武智袋  
英泉画

美艷仙文香  
黒油美玄香  
早交

和泉屋市兵衛

本地本問屋

和泉屋市兵衛



金毘羅船第八編

三のころの...  
このころの...  
丁とありき

そのころの...  
はるかに...  
たのしみ

かたがは...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

上金  
下金

上金  
下金

上金  
下金

新編金瓶梅

第二集

辰新板  
國安画

甘泉堂梓



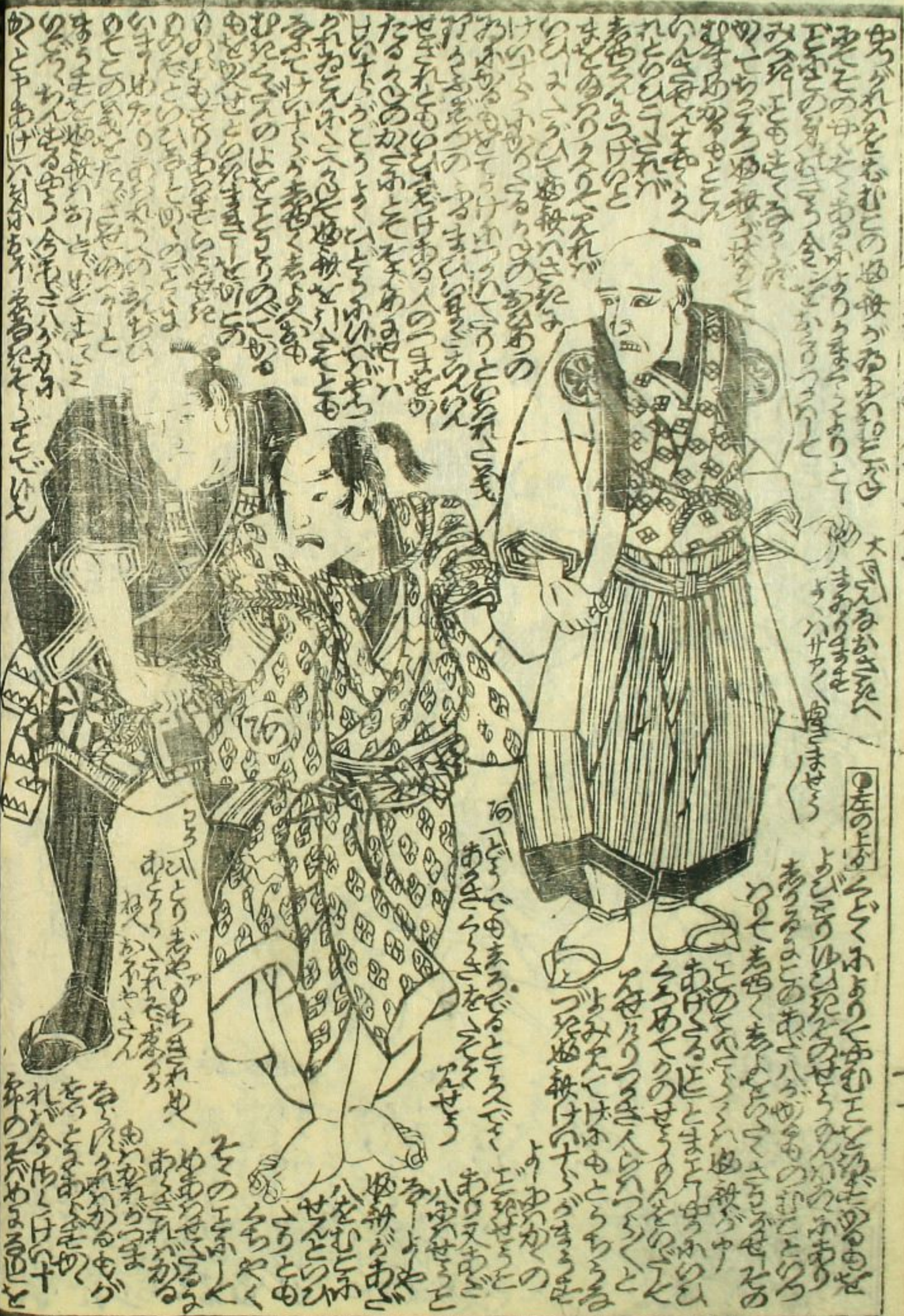
新編金瓶梅第二集之式 壬辰發行 合卷四冊

擬へり本傳の西門呉服の旦月娘力兒卓二も  
 木子嬌兒卓二姐喜田意菴の應伯爵祝屋念  
 三の祝實念その名を擬し脚色と借らぬ作者の  
 腹より生出せ武太が女兒の琴柱の迎見阿蓮と  
 勿論潘金蓮を寫更しは新作新編か  
 趣向の繪策子も和と漢を合卷乃榮

馬琴作 江戸 芝神明前三嶋町地本問丸



金瓶梅第二集





老婦人等... 西門慶... 金瓶梅... 第二集... 西門慶... 金瓶梅... 第二集...



西門慶... 金瓶梅... 第二集... 西門慶... 金瓶梅... 第二集... 西門慶... 金瓶梅... 第二集...



西門慶... 金瓶梅... 第二集... 西門慶... 金瓶梅... 第二集... 西門慶... 金瓶梅... 第二集...











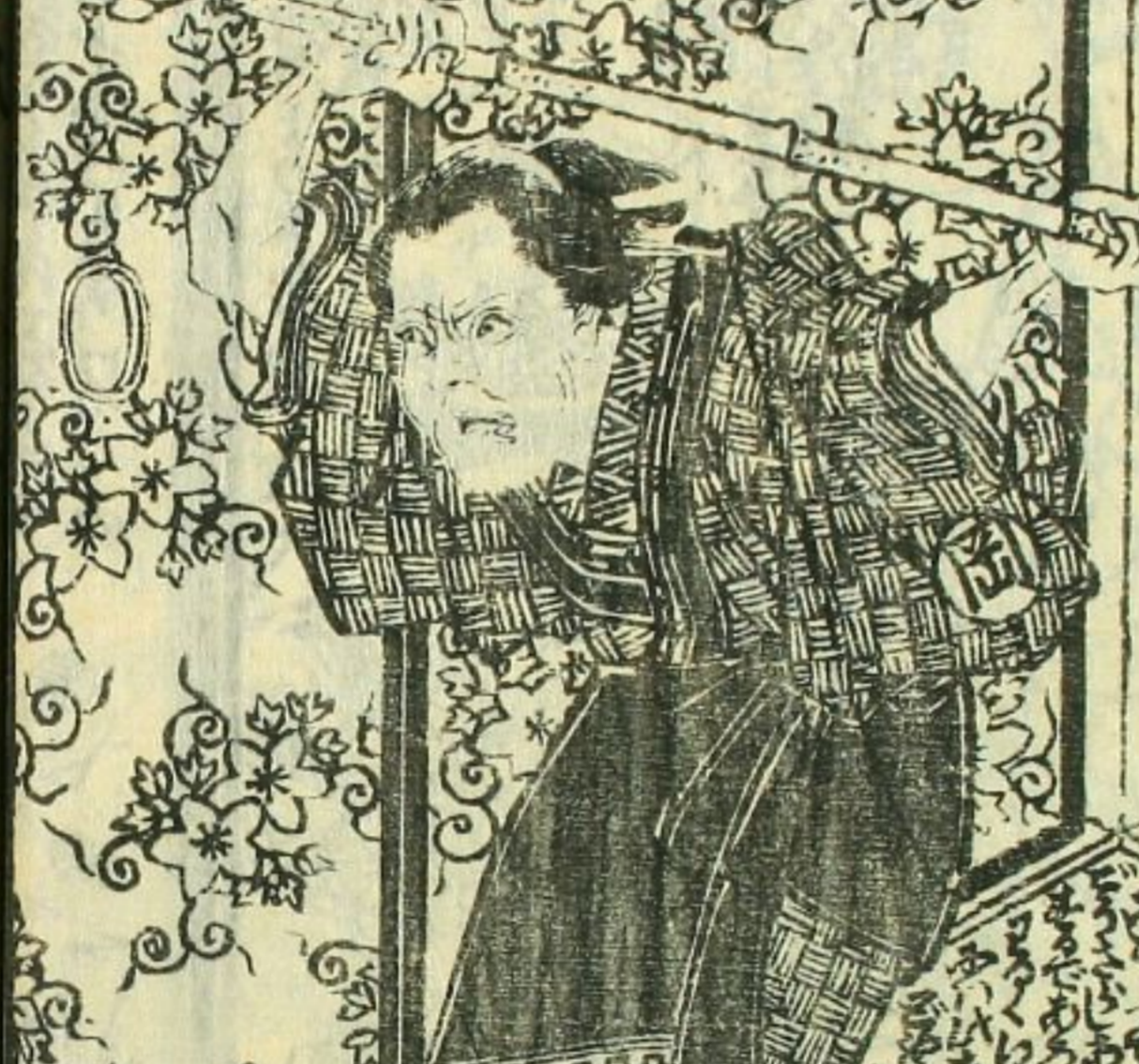


おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ



おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ

おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ



おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ

おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ



おのひち子  
ひらりあつたあ  
正しうあつたあ  
足せあつたあ  
人あつたあ  
ひらりあつたあ  
そのあつたあ



此の書は... 神女湯... 家傳... 精製奇産... 能胆里... 婦人の... 製菓本家... 弘所...

生かすと... 夫を... 此の... 此の...

**馬琴作**

此の... 此の... 此の...

**國安画**

浄書...

馬琴作  
田中白

寺元  
重内  
栲



一  
氏  
二  
集  
三  
本  
文

新編金瓶第二集



天保五年  
甲午再版

八

Handwritten text in vertical columns, appearing to be bleed-through or faint handwriting on the reverse side of the paper.

# 新編 金瓶梅 第三集

馬琴著 天保癸巳孟陽新刷發兌  
 羅貫中が原文を寫せ、蓬洲が舊高木と  
**美人歸癡漢二世惡縁**

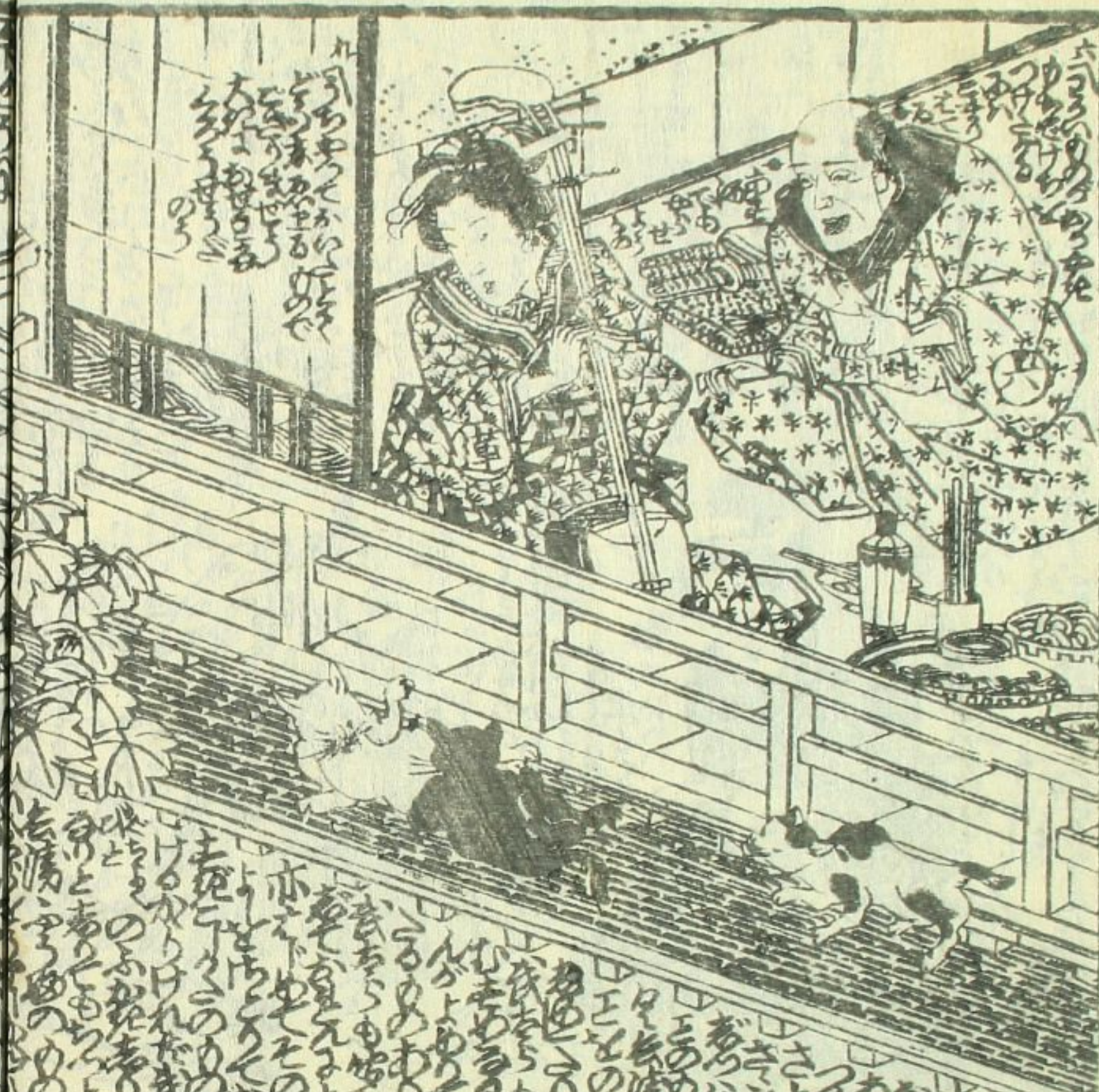
## 合卷之三

江戸芝神明前三島町  
 書肆和泉屋市兵衛版

景陽岡の古態を新ふと武二が勅勇々  
**山僧化猛虎本傳怪談**

國安画 毎集八弓合本四冊連續





この世のことは... (Vertical text columns describing the scene and characters)

その世のことは... (Vertical text columns at the top of the left page)



その世のことは... (Vertical text columns at the bottom of the left page)

金瓶梅第...卷 (Marginal text on the left edge)





金瓶梅 第二回

九三



金瓶梅第二集

十四









おん心  
下多し  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る

おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る



おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る

おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る  
おん心  
念のた  
多し  
大なる  
入る







和漢 駿足 繪本高麗嶽 北尾重政筆 名馬盡

花鳥寫真圖會 同画 極彩色

繪本ぬぢ袴 柳川筆 極彩色

漬物早指南 百治主人著 初編全冊

餅菓子手製集 初編

手造酒法 後編

女年中祝事始 小本 全一冊

女用文艷詞

女今川千代友鶴

雛形小倉百人一首 極彩色

源氏かるた 管入

同雛かるた 管入 肆書 井泉堂藏板



馬琴作

外題國貞画

神明前  
甘泉堂版





金瓶梅第二集

目録  
 癡漢を伴と尼と謀る月下茶弁の反駁手と  
 斬金の阿蓮與西門啓が隱匿の媒宿  
 芝神明前甘泉堂梓

國安画

芝神明前甘泉堂梓

# 金瓶梅第二集之四

馬琴著

天保四稔摩春發行

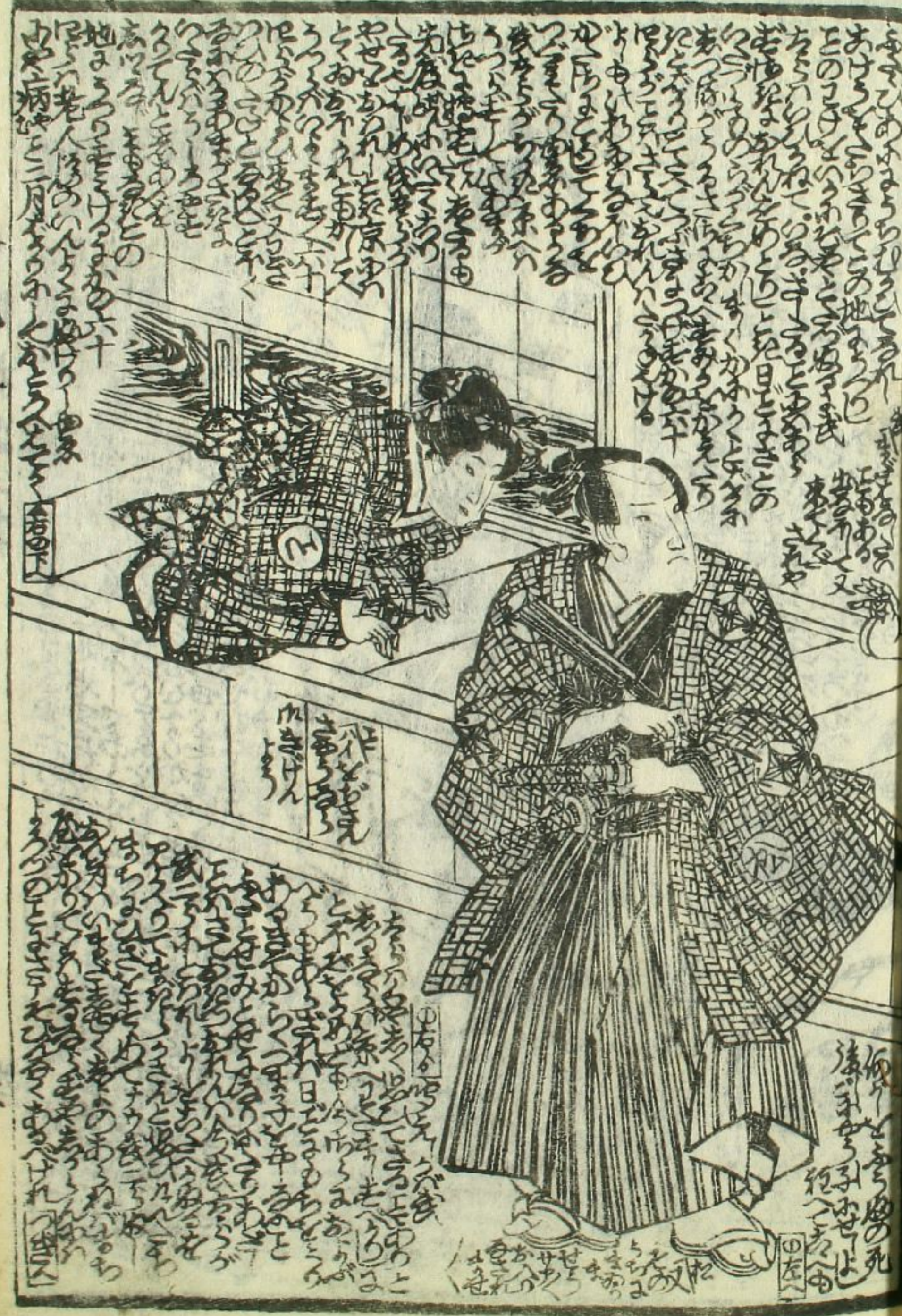
新編

淫婦を懲と兄と諫る阿瞞崎の齋酒々  
 大原武二郎武松が義勇の起行





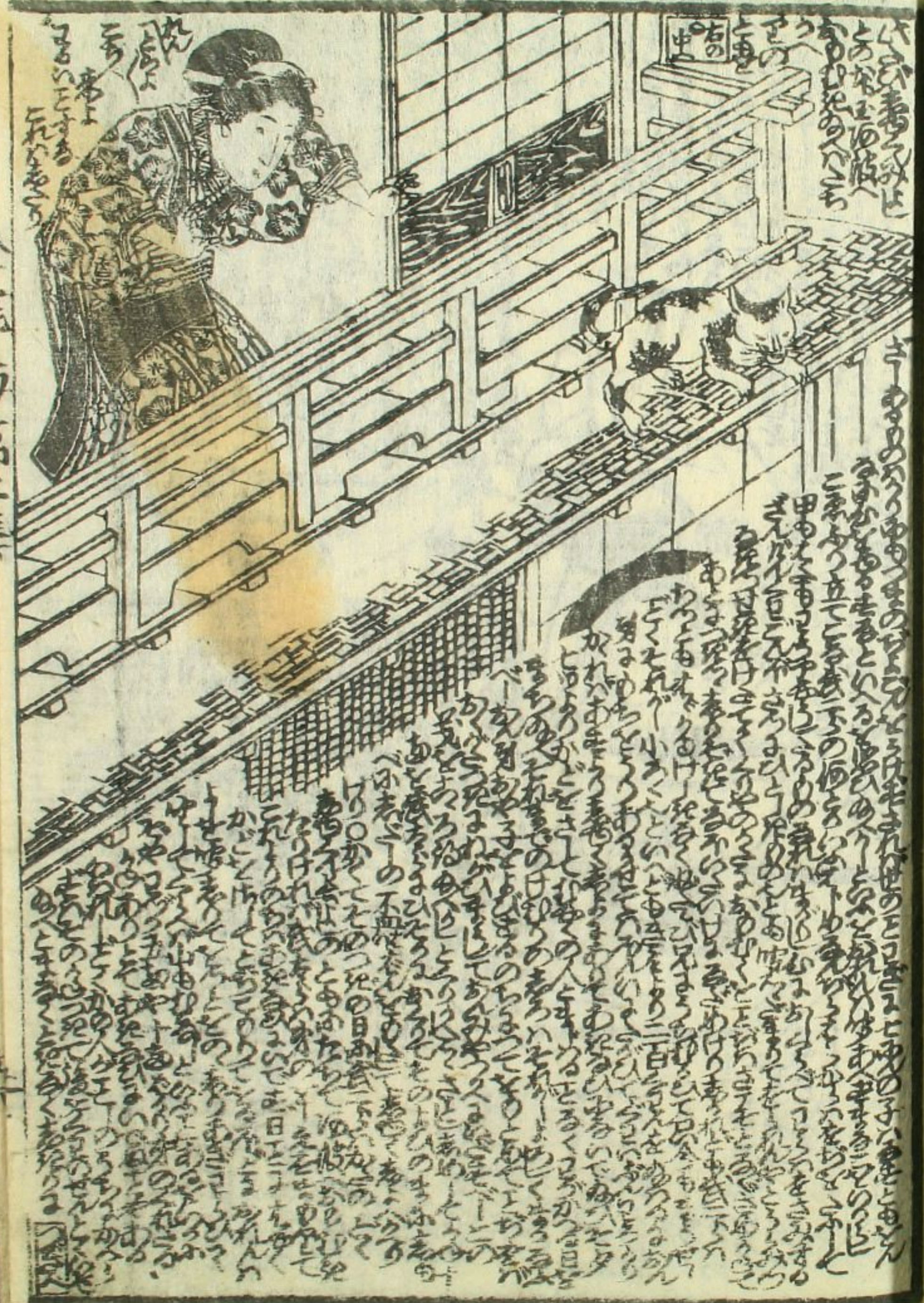
Vertical columns of Japanese text surrounding the illustration on the right page.



Vertical columns of Japanese text surrounding the illustration on the left page.







金井村録上集

廿四



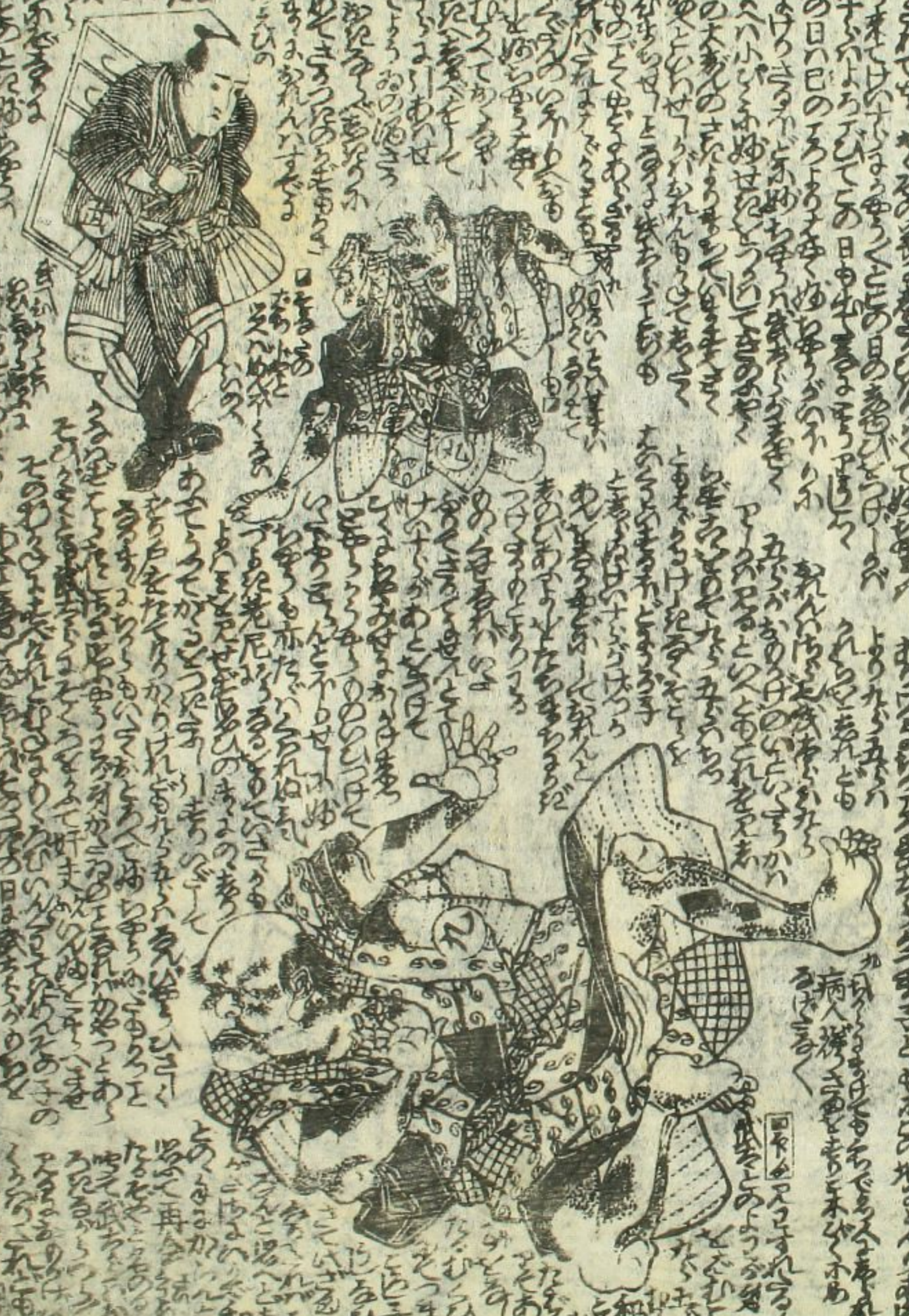




Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a chapter introduction or commentary, located at the top and right sides of the page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a chapter introduction or commentary, located at the top and left sides of the page.







馬琴作



家傳神女湯... 包代... 精製奇應丸... 熊胆果... 婦人... 製茶本家... 神田明神下... 滝澤氏...

國安画

新編金瓶梅 五編 曲亭馬琴作 香蝶樓國貞画

金昆羅船利生纜 九編 曲亭馬琴作 國芳画

裏表忠臣藏 三篇揃 夜雨庵白猿作 風俗伊勢物語 六篇出来 東里山人作 哥川貞秀画

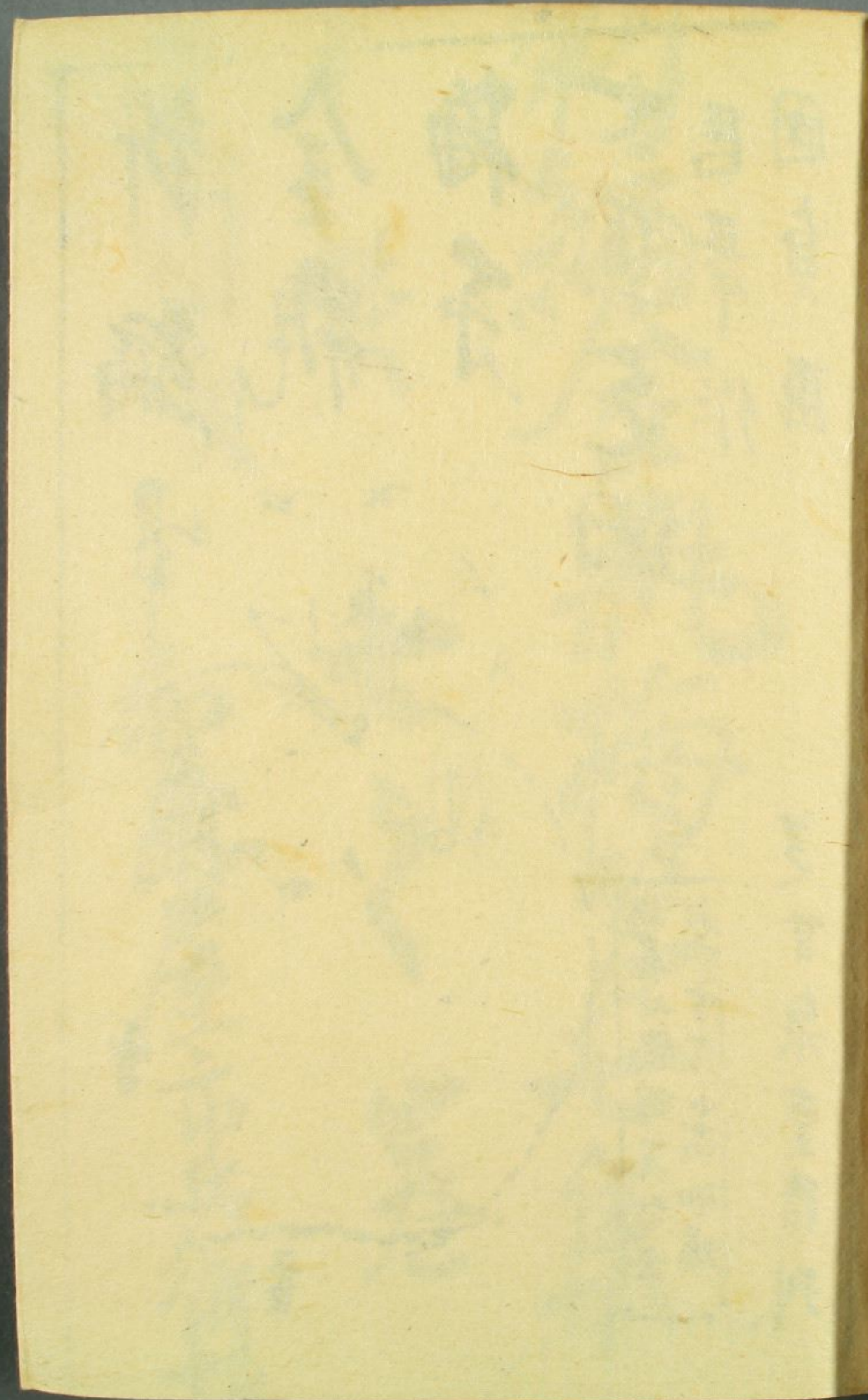
春榮百人一首大全 大冊本 源氏繪畫 漢齋英泉画 中本一冊

常盤百人一首 中冊本 麗玉百人一首 小冊本

美艷仙女香 坂本氏製 源氏繪畫 漢齋英泉画 中本一冊

書肆甘泉堂藏版略目録

書物地本問屋 三島神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛



早稲田大学図書館

011688991112